

緑化だより

No.136 平成30年3月号



イヌガシの花

3月26日(月)は開園します

- 季節の花(ウメ)
- 小さな世界こけ
(岩に着くコケ)
- 昆虫の話(刺します！注意！)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ryokka 緑化センターの本

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

ウメ

「春されば まずさくやどの 梅の花 ひとり見つつや春日暮らさむ」

山上憶良 万葉集 5:818

これを現代風に 訳すと

(春になると最初に咲く庭の梅の花を一人で眺めながら

春の長い一日を過ごすことだろうか)

奈良時代 西暦720(天平2)年正月13日、太宰府の長官である大伴旅人の邸宅で、宴会の時に詠われた歌です。山上憶良は筑前(福岡県)国府として赴任して、1年余りのちに大伴旅人が太宰府の長官として着任して来ました。それからすぐに旅人の妻がなくなりました。憶良は一人になった旅人のことを思い、せっかく咲いた梅の花を一人で見るとは味気ないと思い、旅人への気遣いが込められている歌を詠んだのです。

ウメはバラ科サクラ属の落葉高木で、原産地は中国の湖北省や四川省だと言われていますが、大分県、宮崎県の一部の山あいには自生しているという説もあります。

日本へのウメの渡来は奈良時代の中頃、遣唐使が漢方の烏梅(うばい)として日本へ持ち帰ったものです。つまり梅を燻製にしたものです。お坊さんのおやつや武士が戦の前に必ず食べたと言われていました。一般庶民が副食として食べるようになったのは江戸時代になってからです。



ウメの花

又、ウメは古くから観賞用として庭に植えられていました。

2月から4月に葉の展開前に5弁の花が咲きます。花芽は1節に1個となるため、モモの花の3個(花芽2個+葉芽1個)に比べると開花時の華やかさはありませんが、甘い香りがするとても品のいい、美しい花です。果実は6月ごろ黄色く熟し球形です。

果実は梅干し、梅酒、健康食品に使われます。中国では紀元前から酸味料、塩と共に最古の調味料として使われていました。塩梅(あんばい)という語はこれに由来します。つまり「いい味、いい調子」のことです。梅は奈良時代の頃から多くの万葉人に愛されています。万葉集では萩の花に次いで120首も詠まれています。緑化センターの園内にも植栽されています。(上村)

小さな世界こけ

岩に着くコケ

日本庭園の石組、古い農家の石垣、むき出しになっている岩肌や、溪流の転石などにも色々なコケをみることができます。

日当たりの良い場所の岩には、乾燥すると葉が内側に巻きキラキラ光るハイゴケや、スギゴケの葉を小さくしたような、黄緑色の葉のスナゴケの仲間が着生しています。他にも濃い緑色をした小さなかたまりのハチヂレゴケ、濃い緑色でやや長い茎のケギボウシゴケ、乾燥しているときは、茎に葉がつき、白っぽい緑色のひも状のヒジキゴケなども観察することができます。日当たりが悪く湿り気のある場所の岩には、緑色の細い葉が乾燥すると巻き込み、蒴(さく)のつけ根に小さなの

どぼとけの様なコブが特徴のチヂミバコブゴケ、溪流の水しぶきがかかる岩には、ホウオウゴケや広島県絶滅危惧Ⅱ類に指定されているクマノゴケなどが見られます。(山根)



ハチヂレゴケ



ケギボシゴケ



ヒジキゴケ



チヂミバコブゴケ



ホウオウゴケ



クマノゴケ

昆虫の話

刺します！注意！

太陽の光が柔らぎ、ポカポカとした春の日差しとなる頃、皆さんがその暖かさに誘われてちょっと散歩に出ようかなと思うように、石の下や落ち葉の中、木の皮の裏などに隠れていた虫たちもその姿を見せるようになってきます。

さて、そんな暖かい日にこんちゅう館の周りを歩いていると、日の当たる石の上や落ち葉の上に大きな茶色いカメムシがいるのを見つけることができます。のんびり、ひなたぼっこをしているこのカメムシは「オオトビサシガメ」です。体長が2 cm～2.5 cmもあり、日本のサシガメのなかまの中で特に大型の種類です。

このオオトビサシガメの名前の由来はオオ「飛び」サシガメではありません。本当はオオ「鳶」サシガメです。この「鳶」は茶色がかった赤を示す日本の古来の色「鳶色」の意味があります。その色は、普段は翅の下に覆い隠されており、彼らが飛ぶときにだけその美しい鳶色は現れるのです。

そんな彼らは人を刺すカメムシとして有名です。口は太く、針のようにとがった形をしています。この口をガの幼虫などの獲物に突き立て、消化液で内部を溶かしてから、吸って食べます。そして、彼らが人などの外敵に捕まったときにはこの口で刺して逃げるのです。その時に、ただ刺すだけではなく消化液を注入するので、刺された所の周りが溶け、信じられないほどの激痛です。

まだまだ生き物の姿が少ないこの季節に彼らを見つけると嬉しいものですが、見つけても手に取らない方がいいでしょう。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



冬、日向ぼっこするオオトビサシガメ



翅の下にある「鳶色」の背中

研修会のご案内

- 3月10日(土) 『**サクラあれこれ**』 10:00～12:00 学習室 集合
 サクラの歴史、品種や管理方法などを学ぼう
 講師：樹木医 正本 大
 自由参加・無料
- 3月10日(土) **第2回『ジャンボ椎茸植菌教室』** 13:00～15:00 学習室 集合
 植菌体験し、家庭で栽培
 講師：日本きのこセンター
 ※要予約(キャンセル待ち)・材料費 800円 三次支所長 影井 和男
- 3月14日(水) 『**コケの観察会**』 10:00～12:00 学習室 集合
 自由参加・無料 ルーペ持参
 講師：広島大学名誉教授 関 太郎
- 3月18日(日) 『**3月の自然探勝**』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
 早春の植物を観察しよう 自由参加・無料
 講師：植物研究家 清藤 徹
- 3月18日(日) 『**日本サクラソウを育てよう**』 13:00～15:00 学習室 集合
 山野草の育て方を学ぼう
 講師：森林インストラクター
 ※要予約先着 30名・材料費 1000円 長井 稔
- 3月24日(土) 『**早春のバードウォッチング**』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
 早春の野鳥を観察しよう 自由参加・無料・双眼鏡持参
 講師：日本鳥類保護連盟会員 吉見 良一

※ 臨時開催!

- 3月26日(月) 『**早春の写真教室**』 10:00～12:00 学習室 集合
 早春の植物を撮ろう
 講師：二科会会員 宗岡 泰昭
 ※要予約(先着 20名)・無料・カメラ持参

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・木彫り作品展 「あすなろ会」 ～3月11日(日)

(ボード展示)

・緑化ポスター原画コンクール入賞作品展 ～3月11日(日)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

・ **春のおでかけキャンペーン** 3月17日(土)～5月27日(日)

緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・ **さくら祭り** 3月24日(土)～4月22日(日)

期間中、さくらクイズラリーや早咲きから遅咲きの桜約50種類が楽しめます。

・ **さくら祭りお楽しみイベント** (レストハウス前広場)

4月8日(日) 10:00～15:00

～森林公園イベント情報～

・3月11日(日),4月1日(日)

『パークスポーツをやってみよう』

当日先着100人(どなたでも)

受付10:00～14:00

・4月1日(日)

『サクラメンコで遊ぼう』

当日受付 10:00～12:00・13:00～15:00



春のおでかけキャンペーン
“スタンプラリー”



さくら祭り お楽しみイベント